



2018(平成30)年
1月25日(木)
行田市民大学・
広報部

誇れる郷土は誇り高き市民の手で

行田市民大学理事長 今村武蔵

新しい年を迎え、皆様には心新たに希望に満ちた日々をお過ごしのことと拝察いたします。

行田市民大学は、高い志を持った皆様方のおかげをもちまして、開校10年目を迎えることができました。省みますと、H19年に行田ロータリークラブさんの発議で設立検討会を開催。協議の結果、準備委員を公募してH20年に、設立準備委員会が発足。まずは大学の運営を、行政主体にするか市民主体でやるかを激論の末、市民ボランティアによる企画・運営に決定。基本理念の制定、カリキュラムの検討等、協議を重ねること数か月、試しに開校前講座を開催、68名の応募に自信を得て、H21年に開校の運びとなりました。以来昨年入学された9期生までで490名余りの学生を迎えることができました。また本学の特徴の一つである、グループ研究の成果は目をみはるものがあり、一部はまちづくり活動につながり、今後も大いに期待できるものと思います。

さて、昨今の我が「まち」は「のぼうの城」(和田竜著)の映画化。「陸王」(池井戸潤著)のテレビドラマへの注目によって、一躍全国に行田の名が知れ渡ると云う幸運に恵まれました。これらは市外部からの事案によるものですが私たち市民としても、改めて郷土の良さを認識する大きな出来事になりました。

さらに昨年は、「足袋蔵のまち行田」が日本遺産に認定されると云う、歴史的快挙の年になりました。私たちはこのチャンスを活かして、今度は私たち市民が主体となって、自らまちづくりに参加することによって、大いに誇れる郷土を世間に発信したいものです。

市民大学もその一翼を担うべく、積極的に行動して参りたいと存じます。



卒業式後の記念写真（第7期生）

クリスマスコンサートに多数の市民が参加



12月21日に行田市「みらい」ホールにて、クリスマスコンサートが開催されました。会場には多くの方々が集まり、チェロとピアノ演奏によるクラシックやソプラノ歌手の歌声にうっとりと楽しい時間を過ごしました。今年は初めて市民の方々にも呼び掛けして多くの方々をお招きしての会となりました。第一部

は、チェロの須田千香良氏とピアノの野口真見さんによるクラシック音楽です。最初の演奏はチェロ独奏でG線上のアリアでした。続いて、須田氏の西洋音楽に関するトークがありました。

前半は、チェロの独奏が全部で7曲でした。後半には、二人の女性が参加して中島みゆきさんなどのポピュラー音楽の歌唱がありました。第2部の最後には、会場の参加者全員による「里の秋」と「花は咲く」の合唱となり、また、翌年の再会を呼びかけつつ、好評のうちに会を閉めることができました。



「旧成田領に残る歴史遺産」バスツアー！



11月6日(月)に2学年の授業として実施されました。講師はものつくり大学の横山先生です。先生は、「旧成田領に残る歴史遺産」の本を書かれ、埼玉県北の歴史遺産に詳しい方で、各地に残る歴史遺産の修復などにも力を入れておられます。

写真は熊谷市妻沼にある歓喜院聖天堂の代表的な彫刻、中央は、七福神の布袋様と恵比寿様が囲碁を打ち、大黒様がそれを眺める場面、両端は3人の神様の囲碁が長いので飽きてしまった子供たちが、神様の持ち物（袋や俵）で遊びだしてしまった様子。なお、囲碁の盤面は、江戸時代の四世本因坊・道策と地元出身の弟子・熊谷本碩（ほんせき）との棋譜が再現されているという。

行田市民大学への入学で郷土に貢献を！

平成30年4月からの入学生を募集しています。生涯学習として市民大学の2年間を活用し、まちづくりを共に進めましょう。

開校予定：平成30年5月10日～（就学期間2年）・学費：15,000円

時間：午前10時～12時（原則第2・第4木曜日）・募集人数：50名

場所：ものつくり大学 行田市前谷333（予定）

応募方法：所定用紙にご記入の上、持参・郵送・FAX（用紙は教育委員会やチラシ）

応募締切：平成30年3月15日